





経済学研究院長  
(経済学部長・経済学府長)

磯谷 明德

ISOGAI Akinori

1 学部長の挨拶

2 組織・学科

3 入試のしくみ(一般入試)

4 カリキュラム

6 ゼミ紹介

8 教員紹介

18 卒業生・修了生からのメッセージ

21 施設案内

22 学生生活支援

23 国際交流

24 大学院案内

25 就職状況

《巻末》九州大学経済学部案内図

# 学部長の挨拶

## 2014年に創立90周年を迎えた九州大学経済学部

九州大学経済学部は、わが国でも有数の長い伝統を持ち、1924年に九州帝国大学法文学部経済科として発足して以来、2014年には創立90周年を迎えました。この間に、経済学部を巣立っていった学生たちは、1万7千人近くに達しています。その多くは民間企業へ、そして学界や官公庁にも多くの優れた人材を輩出してきました。このように、本経済学部の卒業生は、戦前そして戦後の日本経済の発展に貢献するとともに、教育・文化、ひいては日本社会全体の発展に貢献してきました。本学部は、先輩たちが築いてきたこの伝統を受け継ぎ、ますます変化を速め複雑化・多様化を増しつつある現代社会のなかで、経済の動向を的確に把握し、創造的な問題解決能力を持ち得る人材を育成することを目標としています。

## 九州大学経済学部の現在

経済学部には1000名を超える学生が在籍しています。経済学の入門科目、基本科目、そして専門性の高い科目へと、学年の進行とともに積み上げていく積み上げ方式のカリキュラムが提供されます。これらの通常の講義に加えて、すべての学年に対して少人数の演習(ゼミナール)が開講され、自らの学習目的に沿ったゼミナールを選択することができ、少人数編成によるきめ細かな教育が提供されます。

さらに経済学部には、ユニークな修学指導の体制があります。修学指導は、年2回実施され、1年次の前学期終了時には、1年生全員に対する面談が実施されます。そこで把握された学部生の修学状況は、「修学カルテ」と呼ばれるものによって、3年・4年次の演習の指導教員に引き継がれます。

経済学部には、「学部・学府一貫教育プログラム」という独自のプログラムがあります。3年前期までに優秀な成績をおさめた学生、ゼミ指導教員からの推薦を受けた学生が、このプログラムに応募でき、プログラム参加を認められた学生は、4年次から大学院講義を受講でき、大学院修士課程特別選抜試験を受験することができます。このプログラム生は、経済学士と経済学修士の両方を、大学に入学後最短5年で取得することができます。

## 科学的側面と道徳的側面の両方を併せ持つ学問体系としての経済学

社会科学の一分野としての経済学が自然科学と違う点は、自然科学が何らかの物質に関する科学であるのに対して、経済学はあくまでも人間の社会的行動に関連する科学であるという点にあります。人間の社会的行動についての分析に際しては、とりわけ問題の発見や理論の設定において、人びとの価値観や目的意識が強く反映されるという側面を持つことになります。経済学は、その誕生以来、一方で自然科学と同じような科学であることを目指してきました。しかし、他方で経済学は、それが道徳哲学の一分野から派生して誕生したことから分かるように、個々人の価値意識や目的意識を重視する道徳哲学的な基礎の上に築かれてきたこともまた事実です。したがって、経済学は、科学的側面と道徳的(モラル・サイエンス的)側面の両側面を持つ学問体系です。経済学を初めて専門的に学ぶ学部生に常に意識してもらいたいのは、経済学が有するこの2つの側面についてです。学部2年次生までの経済・経営に関わるリテラシー科目の履修を通じて、数理的・数量的手法をきちんと学習することは極めて大事です。それによって、確実に論理的な思考力が鍛えられるからです。しかし、経済学を学ぶ上で大切な能力というのがこれだけで十分かというと、決してそうではないと考えます。経済・社会の仕組みを大きな視野から理解し、かつそれを自分なりにきちんと整理をし、自らの言葉で表現できる能力も必要です。こうした能力は、思想や哲学といった人文的な分野や叙事的アプローチを採用する分野のものに数多く触れることによって身につくものだと思います。

## 経済学部創立100周年に向けて

経済学部の創立90周年の年にあたり、4回にわたる記念講演会が2014年に開催されました。国内外からお出でいただいた講演者によって語られたことの通奏低音をなしていたのが「グローバル化」でした。21世紀に入り新たな段階に入ったグローバル化は本学部での教育のあり方にも様々な課題を突きつけています。そうした認識の下、経済学部は、学部課程内にグローバル人材育成を目指す教育プログラムである「経済学部グローバル・ディプロマプログラム(GProE)」を設置することを決定しました。このプログラムで育成を目指す人材とは、「新時代のグローバル化に対応可能な経済学の専門的知識を体系的に備えた人材」です。したがって、このプログラム生として選抜された学部生に対しては、これまでよりも一段と高い専門性と英語等でのコミュニケーション能力、プレゼン・ディスカッション能力などの付与が企画されています。10年後の経済学部創立100周年に向けて、新時代のグローバル化に対応する学部教育の新たな仕組みを、この小冊子を手にした皆様さんとともに作り上げていきたいと思っております。

## 経済学部

### 経済・経営学科

幅広い教養 豊かな現実感覚と国際性を身につける

本学科では、経済学・経営学の基礎理論と幅広い教養、豊かな現実感覚と国際性を身につけることによって、複雑化し多様化する現代の経済社会が直面している諸問題に的確に対処し、その解決策を見出していける人材を養成したいと考えています。

そこで、本学科の教育課程は次の点に配慮して提供されています。まず、「基幹教育科目」の「経済学入門」といった基礎科目からはじまって、「専門科目」へと発展する積み上げ型の科目編成によって、体系的な履修が可能です。

次に、少人数教育を重視し、1年次の基幹教育セミナー（必修）、2年次の基本演習、3-4年次の演習（必修）など、各年次で少人数教育を受けることができます。

さらに、3年次に選択する演習の研究テーマに従い、学生は「経済分析」「産業分析」「企業分析」の三つの系統のいずれかに属することになり、自己の問題関心と卒業後の進路に即した科目を体系的に履修できるように工夫されています。最後に、法学部・文学部・教育学部等其他学部の科目や大学院の科目も履修できます。

以上のような科目を、自己の関心に応じて体系的に履修することによって、現代社会が抱える問題を歴史的・構造的視点から分析する能力、問題を発見し解決する能力、外国語能力に基礎付けられた国際性、さらには幅広い教養を養うことができます。

### 経済工学科

経済諸問題を総合的に捉え、分析し、創造的に解決する能力を身につける

本学科は、グローバル化し、相互依存関係が強まりつつある現代経済に対して理論・実証・政策の各観点から総合的にアプローチし、現代経済が抱える諸問題を創造的に解決する能力の修得を目指しています。

経済活動は、家計、企業、一般政府の行動や海外部門等の行動から成り立っています。これらの活動をミクロのレベル、マクロのレベルで理論的、実証的に分析し、現実の経済システム、経済動向を把握・評価し、多方面から政策的な提言を行うことが経済学の主要な目的の一つです。本学科は、こうした目的を達成するため、低年次に基本科目であるミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学等の履修を義務づけ、高年次に多様かつ専門性に富んだ応用科目を体系的に履修できるようカリキュラムを編成しています。また、3年次においてはゼミ演習を必修化し、少人数のクラス編成による効果的な専門教育が実施されています。

本学科は、経済学部の学科でありながら数学を重視する理系タイプの入試制度を採用し、全国的にみてもユニークないわゆる「文理融合型」の教育を実践し、理系や文系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野で活躍する人材の育成を目指しています。

## {一般入試}

### 大学入試センター試験の出願

2015年10月初旬  
 ※大学入試センターの発表等により  
 確認してください。

### 大学入試センター試験

2016年1月16日・17日

- ▶ **経済・経営学科**  
 指定教科・科目数  
 6教科8科目(前期日程)  
 5教科7科目(後期日程)
- ▶ **経済工学科**  
 指定教科・科目数  
 5教科7科目(前期日程)  
 5教科6科目(後期日程)

### 願書受付

1月25日～2月3日

### 第1段階選抜結果発表

2月9日頃

入学志願者が多数の場合には、大学入試センター試験の成績に基づき、前期日程については募集人員の約4倍、後期日程については約7倍までの選抜を行います。

### 前期日程個別学力検査

- ▶ **経済・経営学科**(2月25日・26日)  
 国語・数学・外国語の3教科
- ▶ **経済工学科**(2月25日・26日)  
 国語・数学・外国語の3教科

### 合格者発表

- 3月8日
- ▶ **経済・経営学科** 116名を募集
  - ▶ **経済工学科** 69名を募集

### 入学手続期間

3月15日 17時まで

### 後期日程個別学力検査

- ▶ **経済・経営学科**(3月12日)  
 小論文(英文を主とした出題によって、英語の学力及び社会・文化に関する理解力と思考力をみる)
- ▶ **経済工学科**(3月12日)  
 小論文(数学的思考力をみる)

### 合格者発表

- 3月21日
- ▶ **経済・経営学科** 33名を募集
  - ▶ **経済工学科** 20名を募集

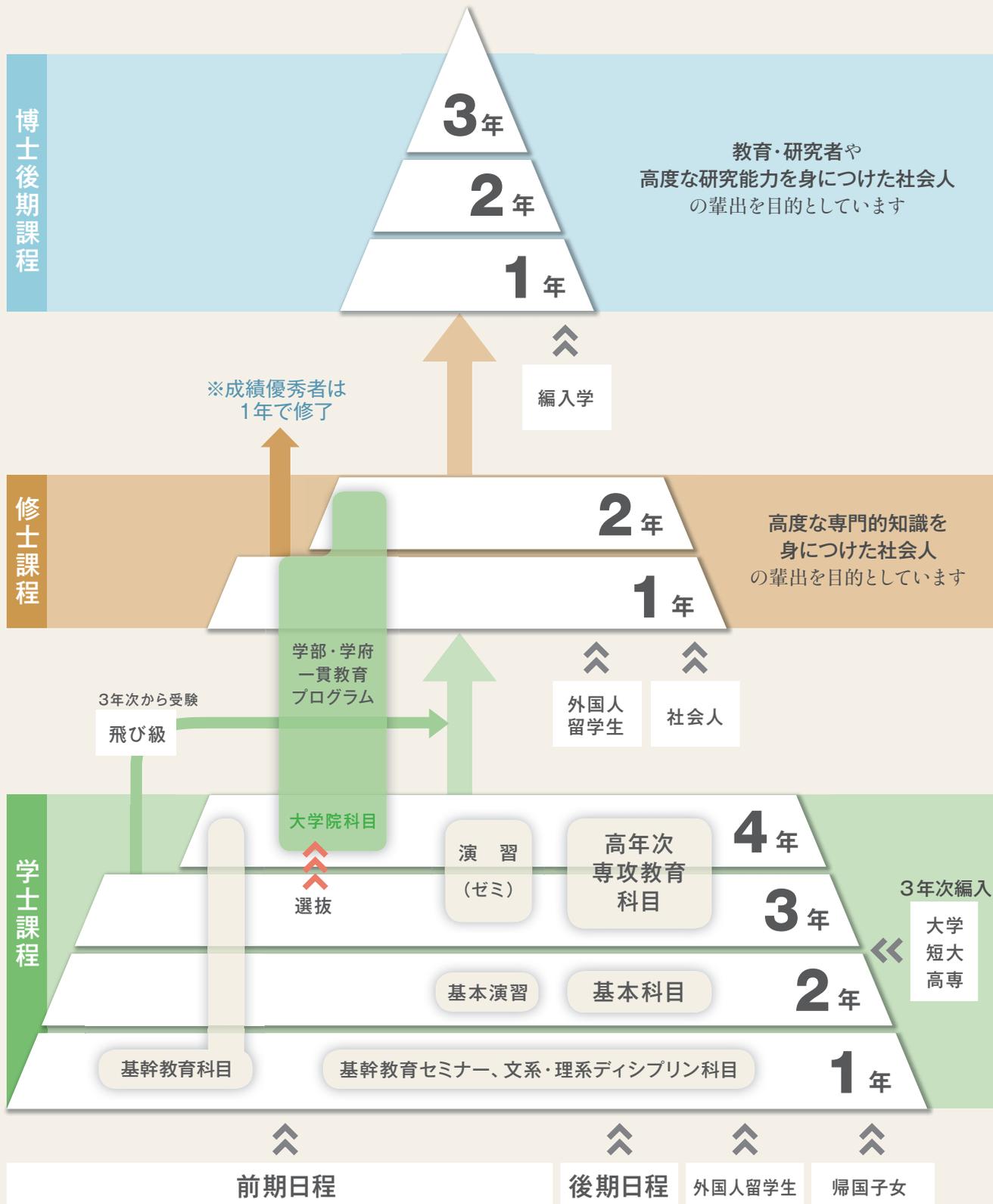
### 入学手続期間

3月27日 17時まで

※入試のしくみについての詳細は、  
 九州大学の「学生募集要項」又は  
 Webサイトを御覧ください。



バランスのとれた一貫教育体系



## バランスのとれた 教育体系

主に1年次で履修する基幹教育科目は、学習態度の涵養と知識の修得を主たる目的としています。経済学部での勉学の中心となる専攻教育科目は、2年次の基本科目と3、4年次の科目に大別されます。基本科目は経済学全般にわたって基礎となる科目です。基本科目の学習は3、4年次の専門性の高い科目へとつながります。これらのほかに、専門を越えた視点や知識の学習を促すために2年次以降で履修する基幹教育科目があります。

## 少人数の セミナーによる きめ細やかな 教育

演習（セミナー、ゼミ）は教員と学生、学生相互が討議し学習を進めるもっとも特徴のある大学教育の場の1つで、各教員が独自の特徴のあるセミナーを行っています。入学後すぐに履修する基幹教育セミナーで大学生としての学びの習慣を獲得します。2年次の基本演習から本格的なセミナーが始まります。3年次からの演習（ゼミ）は必修で、必ずいずれかの教員のゼミに所属することになります。ゼミでは教員の専門分野に従って学習します。自分の学習目的によってゼミを選択しますが、1学年最大10人程度のクラス編成としているため、ゼミへの参加は教員の許可が必要となります。2年次までに履修しておかなければならない基本科目が指定されているゼミもあります。

## 丁寧な修学指導



ピア・アドバイス

1年生の後期開始直前に全員に対して就学指導を行っているだけでなく、修学状況がおもわしくない学生に対しては教員が個別に面談する機会を設けています。また、2年次の基本演習や3年次からのゼミでは、担当の教員が個々の学生に対してアドバイスをしています。さらに、ピア・アドバイスという制度があり、経験豊かな先輩が、修学、学生生活、就職などの疑問や悩みに対応してくれます。

## 学部・学府 一貫教育プログラム

大学院では学部教育よりもさらに高度な専門知識を身につけることができます。3年次前学期までに優秀な成績をおさめた学生は、学部・学府一貫教育プログラムに応募することができます。同プログラムでは、4年次から大学院の講義を受講し、修士課程特別選抜を受験することができます。修士課程では、優秀な論文により通常2年の課程を1年で修了することも可能となります。

「九大経済学部に入って良かったと実感した」  
 —— 3年次生になってゼミ(演習)で勉強を開始した経済学部生の多くが、毎年こうした感想を寄せています。ゼミでは、1-2年次に身に付けた経済学の基礎知識をもとに、より専門的な理論的・実践的課題に挑戦します。大学で勉強することの醍醐味が、そこにあります。

九州大学経済学部では、ゼミは「必修科目」で、卒業までに必ず履修しなければなりません。また、受講人数も平均4～6名、最大でも約10名と決められており、教員によるきめ細かい指導が行なわれています。ここでは、異なる分野から6つのゼミをピックアップして、ゼミでの勉強について紹介しましょう。

## 小津 稚加子ゼミ (経済・経営学科)

小津ゼミでは、3年生、4年生、そして大学院生、留学生も交えてみんなが助け合って勉強し、日々成長していくことを大切にしています。卒業後の進路は全員違っても、ゼミに所属する2年間は共通のテーマを設定し、目標に向かって進みます。毎年、研究プロジェクトを設定するので、卒業までに2つのプロジェクトができあがります。前期のゼミでは、財務会計と経営分析をレジュメにまとめて発表するという座学中心の学習ですが、後期に行う研究プロジェクトの意見交換もしていきます。ゼミ生同士が毎週コミュニケーションをとるのが大切だからです。これまでに、オリンピックの経済的影響、新興国に進出する日本企業(BOPビジネスとCSR)、日本企業のM&A戦略とリスク認識をとりあげて、学生の視点でまとめてきました。

メンバーの得意分野を考慮して、グループ編成するので、自然とチームワークが高まります。財務諸表の読み方にとまどったり、目標を見失いそうになったり、研究成果を出すのに苦労もありますが、仲間と一緒に、他大学とのインターゼミでプレゼンをしたときの達成感は格別です。ゼミ合宿やOB・OG会を兼ねたコンパなどイベントもゼミ生が運営しています。



授業風景



集合写真

## 清水 一史ゼミ (経済・経営学科)

清水ゼミは「世界経済」のゼミです。世界経済や東アジア経済について学びます。具体的には、世界経済全体の構造変化の下での東アジアの貿易や投資の構造、東アジアの経済統合や

FTA、東南アジア・NIES・中国の経済発展や工業化などを理解します。2014年度は、『ASEAN経済共同体と日本』や『キャッチアップ型工業化論』等を輪読しました。ゼミでは、報告と対話、卒業ゼミ論文作成等を通して、将来に向けて役立つ事をしっかり学ぶ事が出来ると思います。

ゼミの行事も色々あります。たとえば、他大学とのインターゼミ、工場見学、バーベキュー大会、同窓会等を開催しています。他大学とのインターゼミでは、3ゼミ交流合宿を行っています。2014年度は「世界経済と日本の課題」をテーマとして、東アジアのFTA、中国経済、ASEANの自動車産業等8つの合同発表会を行いました。卒業生をも含めて同窓生のつながりも重視し、同窓会も毎年開催しています。

留学生も、東南アジア、中国、韓国、キルギス、アメリカなどから来ます。シンガポール、タイ、中国、韓国、アメリカ、イギリスなどへ留学する学生もいます。

経済学部においては、学部の学習はゼミが中心になります。そして、ゼミで積極的に学習し活動する事により、とても多くの可能性が広がると思います。



ゼミ風景



新入生歓迎会

## 鷺崎 俊太郎ゼミ (経済・経営学科)

日本経済史を専門とする鷺崎ゼミの目的は、①テキストの輪読を通じて、徳川期～近代の日本経済を現代の諸問題と照合しながら分析するとともに、②歴史や経済の舞台となった現場をフィールドワークで訪れ、③卒論・修論を通じて、自ら設定した課題をアカデミックに、且つオリジナリティーを持って解明できることの3点にあります。昨夏・昨冬の東京合宿では、藩札を研究する班が日本銀行貨幣博物館や国立印刷局お金と切手の博物館を、近代ホテル産業を研究する班が帝国ホテルや箱根の富士屋ホテルを見学し、実物の史料や学芸員・従業員の方からお話を伺い、学習してきました。これまでの6年間に学部生45名と大学院生4名が卒業・修了し、多種に及ぶ企業や官庁、学界などで活躍しています。今年度は、学部生29名と大学院生3名が在籍し、インターゼミ・インナーゼミ、卒論・修論制作に向けた実証研究に取り組んでいます。以上の活動は、facebookページ「九州大学 鷺崎ゼミナール」に掲載していますので、ぜひご覧ください。



5～6期生の集合写真



6～7期生の集合写真

## 大西 俊郎ゼミ (経済工学科)

ビッグデータは日常生活の様々なものを変化させています。例えば広告です。インターネットを利用していると広告が勝手にポップアップしてきます。実は、あなたの過去の閲覧履歴をもとにあなたが欲しいものを推測しているのです。広告をより効率的にするためです。機械的対応という言葉は普通、悪い意味で用いられます。しかし、この例では機械もまるで人間のように相手の気持ちを推し量りながら対応しています。

このような広告方法は、高校数学の数学I「データの分析」や数学B「確率分布と統計的な推測」で学ぶ統計学に基づいています。大学ではより高度な数学に基づいて、これらの内容をさらに掘り下げ、数理統計学およびそれを経済学に応用した計量経済学を学びます。

私のゼミでは理論的な面を中心に数理統計学を勉強します。統計ソフトウェアを自由自在に使いながら、数理統計学を生き生きとした形で習得することが目標です。また、近年注目を集めているベイズ統計学にもチャレンジします。数学A「場合の数と確率」の発展的内容として「事前の確率」と「事後の確率」を学んだと思います。この考えに基づき組み立てられたのがベイズ統計学です。ビックデータ時代において、ベイズ統計学はますますその重要性を増しています。



ゼミ集合写真



ゼミ風景

## 磯谷 明德ゼミ (経済工学科)

ゼミナールは「ゼミナリスト」を語源とし、それは「一緒に種まく仲間」を意味しています。ゼミは、単にノウハウや技法を獲得する場でもなければ、単位を取得するだけの場でもありません。一緒に種まく仲間として学びと心の交流をしよう場です。そうした交流は普段の演習の中だけではなく、新歓コンパや追い出しコンパ、ゼミ合宿といった課外の行事の中でも深められていくはず。ここに学部3年・4年でのゼミでの楽しさがあります。

さて、本ゼミでは、演習テーマとしてこれまでずっと「現代経済学の基礎と応用」を掲げてきました。前学期には、経済学の基礎的な道具立て(ミクロ経済学・マクロ経済学・ゲーム理論)の再確認を行います。後学期には、より現実的な諸問題を取り上げます。ここ数年は、現代の日本企業に焦点を当て、現在の日本企業が直面している多様な課題を理解することを課題としてきました。また、ゼミでは毎回、「週間経済報告」がなされ、日本や世界において今、どのような経済的な出来事が起こっているのかを全員で議論します。

経済・社会の仕組みを大きな視野から理解し、かつそれを自分なりに整理をし、自らの言葉で表現できるようになる、これが本ゼミでの目標です。皆さんの入ゼミを心より楽しみにしています。



2014年 学部ゼミ 集合写真



卒業式祝賀会

## 藤田 敏之ゼミ (経済工学科)

アカデミックな色彩の強いゼミといえるでしょう。大人数講義でなんとなく単位をとるだけでは特定の学問の体系はなかなか身につかないと思います。藤田ゼミでは、すべての受講生が卒業時に胸を張って専門的な学習ができたと言えるようなレベルに達することを目指し、そのサポートをします。

具体的な内容としては、環境経済学およびゲーム理論の入門から中級までの内容を学びます。3年ゼミでは教科書を読み、環境経済学とゲーム理論の基本的内容をしっかり身につけます。4年ゼミでは3年次の学習を踏まえて、担当教員の専門である環境問題のゲーム理論的分析に関する論文や研究書を読み、専門的な分野にふみこんで学習します。

募集要項に上記のような堅いことばかり書いているせいか、例年ゼミ生がきわめて少なく大学院生をメンバーに加えて運営していました。ゼミの企画もなかなかできない状況でしたが、2015年度は多くの意欲ある3年生がゼミの門戸をたたいてくれましたので今後が楽しみです。環境経済学やゲーム理論を究めたいという強い意志をもつ学生と一緒に学んでいきたいと考えており、ゼミ生が将来自分の研究仲間となつてもともに刺激しあうというのが私の夢です。皆さんの参加をお待ちしています。



ゼミ風景



ゼミ集合写真

九州大学経済学部では、経済学の各分野の第一線で活躍する教授陣が、講義やゼミ（=少人数クラスの「演習」科目の略称）を担当しています。ここでは、各教員の専門分野と担当講義・ゼミについて紹介します。

各教員の研究内容や著書などについて、さらに詳しく知りたい皆さんは、「九州大学経済学部ホームページ」\* の「教員スタッフ一覧」に是非アクセスしてみてください。また、それぞれの講義やゼミの目標や内容をより詳しく記した「授業計画、シラバス (Syllabus)」も上記ホームページの「時間割・シラバス (学部)」に掲載されています。併せて参照ください。

\* URL ; <http://www.en.kyushu-u.ac.jp/>

## »»» 経済・経営学科



**実積 寿也**

JITSUZUMI Toshiya

【産業政策】

【研究テーマ】

① ネットワークの産業政策 ② 通信政策 ③ 公益企業の効率性と最適規制

【講義・ゼミ紹介】

3・4年次に学ぶ専門科目としては「産業政策」を担当しています。本科目では、民間企業によって担われている経済活動に政府が介入する「産業政策」をめぐる経済理論を学び、現実の政策展開・産業規制を客観的に理解し評価する力を身につけます。ゼミは「情報通信経済の分析」をテーマとしています。ゼミでは、わずか20年で、独占から競争市場へと変貌を遂げた日本の通信市場（及び関連市場）を題材とし、通信サービスやインターネットの発展動向やそれに対する政府の関与について分析し、論文を書き上げるという作業を行ってまいります。ミクロ経済学の知識を活かしつつ、通信サービスの特徴を理解し、それが需要と供給、さらには、市場メカニズムにどのような意味を持つのかを考え、あるべき通信政策についての理解を深めることを目的としています。



**久野 国夫**

HISANO Kunio

【産業技術】

【研究テーマ】

① マイクロ・エレクトロニクス革命及び ICT（情報・通信技術革新）と労働 ② 日本産業の技術競争力

【講義・ゼミ紹介】

3年次生になって学ぶ専門科目「産業技術」の講義では、技術を中心に技術と産業、技術と労働の今日の変化について検討していきます。技術革新は経済を動かす動力であり、社会の期待も高いので注目されるのですが、その分、過剰な期待や無理解も多いようです。この講義では技術、産業革命について原理的に考察し、今日がどのような技術段階にあるか、産業や働き方に技術が及ぼす影響について考えていきます。

「久野ゼミ」では主として産業や労働に関する文献を取り上げ、討論を中心にゼミ生が自分で考える力を培ってもらうようにしています。そのため「ゼミ」は3・4年次生合同で、活発な討論になるように配慮しています。加えて懇親のため適宜ゼミコンパやゼミ旅行、工場見学にも行きます。また、ゼミ論文にも全員が取り組み、遊びにも勉強にも楽しく活発なゼミとなるよう目指しています。



**山本 健兒**

YAMAMOTO Kenji

【産業配置】

【研究テーマ】

① 産業集積の理論と実態 ② 企業の立地行動と地域経済 ③ 都市の社会・経済

【講義・ゼミ紹介】

私自身の専門は、国よりも小さなスケールの地域を取り上げて、その産業や社会経済の状況を研究することです。地域の研究を通じて、国というスケールや複数の国からなる大陸スケール、さらには地球規模での社会経済的問題を考察することが重要と考えています。3・4年次生向けの「産業配置」では、北米や欧州における自動車産業の立地変動、都市を都市たらしめる産業とは何か、といったテーマの講義をしています。そして3・4年次生向けの「経済・経営学演習」では、九州経済を考えるために日本や九州の産業構造に関するテキストを検討するとともに、学生と一緒に3泊4日程度の日程で、どこか適切な場所の産業および地域の調査を企画しています。調査の結果は、学生が共同で論文にまとめることになっています。



**堀井 伸浩**

HORII Nobuhiro

【産業構造】

【研究テーマ】

① 中国の市場経済移行と産業構造変動 ② 中国のエネルギー産業・環境産業 ③ 中国の大気汚染問題と環境政策

【講義・ゼミ紹介】

中国は2010年に日本のGDPを凌駕して、世界第2位の経済大国となりました。ピンと来ます？中国の経済発展の凄さを知るには産業に注目することが有効です。中国経済の躍進を支える企業と企業に影響を与える様々な条件を調べれば、中国の強さについて、また逆に直面している課題について具体的に理解することができます。私が担当している「中国語経済」と「産業構造」はそうした観点から日本との比較も交えて分析します。

ゼミでも学生はグループに分かれて特定産業のリサーチを行います。2014年は医薬品産業、外食産業、鉄道、環境産業、保険ビジネス、鉄鋼産業などの共同研究が進行中です。グループは日本人学生と中国人留学生で構成され、知の国際協働のプラットフォームとなります。夏休みには中国に現地調査に行きます。現場に根ざした中国理解と一生モノの外国の友人、これがゼミから得られる財産になるはずです。



## 鷺崎 俊太郎

WASHIZAKI Shuntaro

【日本経済史】

### 【研究テーマ】

①日本経済史 ②近世・近代都市の土地市場史・不動産経営史 ③歴史人口学

### 【講義・ゼミ紹介】

2年次の基本科目「経済史I」と、3・4年次の専門科目「日本経済史」を担当しています。「経済史I」では、16～20世紀のアジアと欧米の関係に着目しながら、日本経済の果たした役割を探究します。「日本経済史」では、1600年代から1930年代の400年間にわたる日本の経済システムの変容を学びます。

ゼミでは、徳川期～近現代の日本経済について、現代の諸問題と比較しながら分析できる能力を身につけます。本年度は、前期に下関市立大学経済学部の櫻木晋一ゼミとインターゼミを開催し、年末には産業分析系の4ゼミ(他に実積・堀井・北澤の各ゼミ)で合同の報告会を開催し、1年間の研究成果の披露に努めたりする予定です。『歴史は講義室で起きているんじゃない、現場で起きているんだ!』をモットーにして、日本経済に関わる博物館や工場を訪問したり、図書館・資料館で文献を収集してみたりと、校外学習(フィールドワーク)を重視している点が、鷺崎ゼミの特徴です。



## 北澤 満

KITAZAWA Mitsuru

【産業社会史】

### 【研究テーマ】

①近現代日本産業史 ②近代日本経営史 ③近代日本の産業発展と実業教育

### 【講義・ゼミ紹介】

3・4年次生を対象とする「日本経済史」・「現代日本経済史」では、江戸時代(近世)～1930年代(「日本経済史」)、第二次世界大戦期～高度成長期(「現代日本経済史」)について、日本経済の歴史を概観します。ここでは、一つのことがらについて複数の見方考え方がありうること(「正しい見方」は一つではないこと)を学習してほしいと思います。ほとんどのみなさんにとって、関心があるのは現代(または未来)の日本経済でしょうが、それを考えるうえで、現代日本経済の成り立ちを考えることも、重要な作業です。

ゼミでは、広く日本の産業社会について学んでいます。さらに細かいテーマは、参加学生の希望にあわせているので毎年かわります。これまで、日本の財閥・企業家活動・談合の成り立ちなどについてテキストを購読したり、研究発表をしたりしてきました。また、工場や資料館などの見学も、活発に行っています。



## 関 廷媛

MIN Jungwon

【経営管理】

### 【研究テーマ】

①組織間協力ネットワークのダイナミクス ②マネージャーの認知と組織行動のメカニズム ③組織間相互作用がもたらす学習効果

### 【講義・ゼミ紹介】

講義では、「経営管理」を担当しています。企業の諸活動は、内部組織と外部環境のマネジメントに大別できます。前者では、従業員や組織・事業構造に関するマネジメントが含まれ、後者では、他企業との関係や市場、グローバル展開に関するマネジメントが含まれます。本講義では企業が内部組織・外部環境のマネジメントをどの

ように行っているのか、そして、これからどうあるべきか、について理論と事例に基づいた議論をしています。

ゼミでは、企業と外部環境との相互作用効果をテーマとした研究を行っています。組織間協力(提携)、競争、模倣などの相互作用に関するアカデミックな論文を精読し、これらを理論的に拡張するための仮説検証型実証論文を執筆しています。単に「経営学を勉強する場」というよりは、「最先端の経営学を創造する場」、が私のゼミの目指すところです。現実世界の企業の動きを注視し、新しい視点から、その動きを生み出すメカニズムや結果として現れる現象を実証しています。



## 大坪 稔

OTSUBO Minoru

【経営政策】

### 【研究テーマ】

①コーポレート・リストラクチャリング ②資本提携 ③企業グループ

### 【講義・ゼミ紹介】

講義は、「経営学II」と「経営政策」を担当しています。「経営学II」は主として2年生を対象としており、株式会社の仕組みや日本企業に特徴的と考えられてきた経営手法について学習します。企業には、株式会社をはじめとして、合名会社や合資会社など様々な形態が存在します。他の企業形態と比較して、株式会社にはどのようなメリットやデメリットが存在するのか、などについて学習していきます。

「経営政策」は、3年生以上を対象としており、日本企業がこれまでどのように資金調達を行ってきたのかについて学習します。そのうえで、現代の大企業の主要な資金調達手段である株式や社債にはどのような種類があり、これらの理論価格はどのように計算するのかについて学習します。

また、ゼミでは経営財務について学習します。経営財務は、資金調達や投資決定など企業経営のなかでもお金に関連した分野を対象としています。さらに、現実の企業がどのように経営を行っているのかについて各学生に自分の興味のある企業を選んでもらい、財務分析を行ってもらいます。



## 遠藤 雄二

ENDO Yuji

【経営労務】

### 【研究テーマ】

①現代日本の女性労働 ②日本企業の人事労務管理 ③21世紀のサラリーマンの仕事と生活：ワークライフバランス

### 【講義・ゼミ紹介】

ゼミでは、日本企業の人事労務管理と女性労働について勉強しています。具体的には、企業における仕事、賃金、労働時間や職場における男女平等、ワークライフバランスなどに関する文献や資料を読み、討論していきます。順番に報告者と司会者を決めて、ゼミ生が主体になって討論する中から、テーマに関する理解を深めています。

また、ゼミ生の懇親、ゼミ卒業生との交流を深めるために、ゼミ合宿やOB会を年数回、開催しています。さらに、他大学との交流研究合宿も行っています。

3年生になって学ぶ「経営労務」では、「職場における男女平等」をテーマに、日本の職場の男女平等度が世界的にみてもなぜ低いのか、その原因を探り、21世紀においてヨーロッパ並みの男女平等を達成していくためには何が求められているのかを、講義しています。



## 大下 丈平

OSHITA Johei

【原価計算】

### 【研究テーマ】

①管理会計とマネジメント・コントロールにおける日本の貢献  
②コーポレート・ガバナンスと管理会計の連携 ③日米仏を中心とした管理会計システムの国際比較研究

### 【講義・ゼミ紹介】

昨今、企業の不祥事（例えば、製品の品質や産地の偽装、賞味期限の付け替えなど）や会計の不正（例えば、利益のごまかしなど）が頻発し、これを原因として企業は信用を失い、倒産に追い込まれ、その結果として従業員は解雇され、大きな社会問題となっています。こうした事件を契機に、こうしたことが起こらないように企業を適切に経営していくための仕組み（これを「内部統制」と言います）が、こうした仕組みがすでに法制化されていることを皆さんはご存知でしょうか。

そもそもこうした企業不祥事、会計不正はなぜ起こるのでしょうか、その原因はどこにあるのでしょうか。そして、こうした事件が起こらないようにするにはどうしたらいいのでしょうか。

本ゼミは、会計と経営の両面からその原因と対策を考えていきます。どういう組織やリーダーがいいのでしょうか。どんな情報を作成して経営者を支援すればいいのでしょうか。考えるヒントはリスクとチャンスです。特にリスクの名の下に多くの経営管理実務が再組織化されようとしています。また、効果的なリスク管理の可能性という観点からガバナンスが再発見されようとしています。是非、ご期待ください。



## 丸田 起大

MARUTA Okihiko

【管理会計】

### 【研究テーマ】

①アメリカ経営 ②バランス・スコアカード ③内部監査

### 【講義・ゼミ紹介】

講義は「管理会計」を担当しています。民間企業や公務員への就職、公認会計士資格取得やビジネススクール進学など、将来みなさんがどのような進路に進むことになっても、会計学の知識はとも役に立ちます。不況に強い会社とそうでない会社の違いは？ 儲かっている商品とそうでない商品を見分ける方法は？ お客さんに喜んでもらうためにどこまで値下げできるか？ 今月の予算と実績に差が出てしまった原因は？などの具体的な場面をイメージしながら、会社をうまく経営していくために必要な予算管理やコスト・マネジメントなどの知識を学びます。ゼミでは、管理会計、原価計算、および経営分析などを中心とした会計学をテーマにしています。力試しのために各種資格試験の計算問題に挑戦したり、身近な会社を訪問して実務のお話を聞き、レポートや卒業論文にまとめて発表会を開催したりしながら、会計学の基礎的な理論と実践的な知識を身に付けていきます。



## 大石 桂一

OISHI Keiichi

【企業会計】

### 【研究テーマ】

①アメリカの会計規制 ②会計規制の国際比較 ③PFIの会計

### 【講義・ゼミ紹介】

私が担当している主な講義は「会計学I」と「企業会計」です。1年次生向けの「会計学I」では簿記と会計の基本を学びます。3・4年次生向けの「企業会計」は会計学の応用編ですが、決算書の読み方、会計数値をもとにした財務分析、会計学の理論などを学習します。

ゼミのテーマは「会計を使いこなす!」です。理論やルールの学習だけでなく、実際にプレーすることが大事なのです。具体的な題材は参加者が自主的に決定するというのが大石ゼミの原則で、実際の企業の財務諸表分析、経営戦略分析、企業価値評価など、これまで様々なことを行ってきました。こうしたゼミでの学習を通じて、企業会計と経営に関する理解を深めることができるだけでなく、プレゼンテーション&ディスカッションの力も身に付けることができます。また、公認会計士や税理士を目指す学生も多く、お互いに切磋琢磨しています。



## 清水 一史

SHIMIZU Kazushi

【世界経済】

### 【研究テーマ】

①ASEANの域内経済協力・経済統合 ②アジア・太平洋地域の経済統合・地域統合 ③統合の比較研究

### 【講義・ゼミ紹介】

1年次生用の授業では、入学直後の入門ゼミである「基幹教育セミナー」などを担当します。また、2年次用の基本科目では「国際経済学」などを担当します。「国際経済学」では特に国際貿易論を担当し、国際貿易の理論（たとえばリカードの貿易モデル）や現実（たとえば日本とアジアやアメリカとの貿易）について講義します。3-4年次生用の専門科目では、「世界経済」などを担当します。「世界経済」では、グローバル化し構造変化を続ける世界経済を、現実、歴史、理論の面から総合的に分析します。学部のゼミでは「世界経済の構造変化と東アジア」をテーマとして、世界経済全体の構造変化の下での東アジアの貿易・投資構造、東アジア地域経済協力・経済統合・共同体構想、東南アジア・NIES・中国の経済発展や工業化などを分析します。テキストの輪読や研究報告、卒業論文報告などを行います。また、他大学との合同ゼミナールや工場見学なども行います。



## 川波 洋一

KAWANAMI Yoichi

【国際金融】

### 【研究テーマ】

①貨幣・金融理論の研究 ②国際銀行業と国際金融市場 ③金融業の国際化と国際金融システム ④アメリカの金融システム

### 【講義・ゼミ紹介】

私のゼミでは、学期ごとにテーマを決め、これを巡って書物を読む方式でゼミを行っています。一昨年度は世界的金融危機の原因、昨年度は世界金融危機の観点から量的金融緩和を取り上げ、ゼミ生諸君に積極的に討論させる方式をとりました。今年度は関連の

文献を報告し、概略的な知識を得たところで、金融危機の原因とその対策としての金融政策をどう考えるか、日本やアメリカの状況を分析しながら、それぞれの立場に分かれ、司会者のコーディネートのもと、種々議論し合うことになります。自己の主張をできるだけ説得的に展開するために、論理を整え、事実を調べる必要があるので、ゼミ生諸君は懸命に勉強する必要があります。パワーポイントスライドを使用することにより、共同作業や発表の技法も身につけることができます。何より、ゼミ生諸君がよく発言するようになったことが最大の効果だと思っています。

併せて、特定のテキスト(平成26年度は池尾和人『連続講義・デフレと経済政策』)を決め、これを各グループごとに分けて報告・討論する形式をとっています。



## 岩田 健治

IWATA Kenji

【比較金融システム】

### 【研究テーマ】

- ① EUの金融・通貨統合 ② 国際通貨の多極化と国際通貨制度  
③ 金融システムの国際比較

### 【講義・ゼミ紹介】

世界経済の動きに興味がある人は、2年次生になったら基本科目「国際経済学」の講義を受講すれば、そうした動きを経済学的に分析するための基礎的な理論を身に付けることができます。3-4年次生向けの「国際金融」講義では、国際通貨制度の歴史的発展、金融グローバル化と通貨危機、通貨統合の歴史と意義、世界金融危機など、国際金融の歴史や最新のトピックについて、より深く学ぶことができます。

ゼミでは「現代の国際金融」について幅広く研究を行っています。基本的なテキストを全員で講読した上で、3-4名のチームに分かれて、テーマを決め、研究を行います。最近では、「ASEANの金融システム」「ユーロ圏政府債務危機とEU」「アメリカ金融危機と金融政策」などをテーマに勉強しました。その研究成果は、毎年秋に全国の大学との間で開催される「国際金融インターゼミナール」で発表し、議論を深めます。



## 八木 信一

YATSUKI Shinichi

【比較地域政策】

### 【研究テーマ】

- ① 地域ガバナンスと地方財政 ② 重層的環境ガバナンス ③ 公的ガバナンスの動態と自治学習組織

### 【講義・ゼミ紹介】

主な担当講義は、3・4年次生を対象とした「地域政策」です。ここではとくに、都道府県や市町村といった地方自治体が担う地域政策(自治体地域政策)と、それを支える地方財政との関係について、「三割自治」という日本の特徴から三位一体改革やタ張市の財政破たんなどの最近の動向までを網羅しつつ、現実や現場をつねに意識した上で理解できるようにしています。

また、ゼミでは、自治体地域政策や地方財政に関する専門文献の輪読はもちろんのこと、それに加えて、毎年12月に京都府立大学と静岡大学との間で研究交流会(インゼミ)を開催しています。これまで、北部九州港の港湾政策、博多の屋台を通じた地域活性化、および都市における単身高齢者問題の分析などをテーマとして取

り上げ、現状分析や課題提示だけでなく、具体的な政策提言も行ってきました。みんなでもっとも学び、夢を語り合い、悩みを共有し、そして現実をより良い方向に変えていく。そんな高い志を持った、(私も含めた?)若人が集うゼミです。



## 深川 博史

FUKAGAWA Hiroshi

【国際農業政策】

### 【研究テーマ】

- ① WTO 農業交渉 ② FTA と農業競争力比較 ③ 産業技術革新

### 【講義・ゼミ紹介】

経済学部等の1年次生向けの講義としては、基幹教育科目などを担当します。2年次生向けの専門科目としては「政治経済学」や「経済・経営学基本演習」などを担当します。「政治経済学」では、政治経済学の基礎について説明するとともに、20世紀前半の世界体制や恐慌、20世紀後半のGATT体制やWTO体制などに触れます。「経済・経営学基本演習」では、国際農業政策に関心を持っていただくために、食糧・農業・環境分野について、最近の話題をとりあげています。

3・4年次生向けの専門科目としては、「農業政策」や「経済・経営学演習」などを担当します。「農業政策」では、貿易自由化などの最近の話題から始めて、現代の農業政策や農業経済の基礎理論までを説明します。「経済・経営学演習」では、国際農業政策に関わるやや専門的なテキストを輪読します。専門的な論文を熟読し、学問への関心を高めることで、4年次後期のゼミ論執筆へ向け準備を整えます。



## 加河 茂美

KAGAWA Shigemi

【経済統計】

### 【研究テーマ】

- ① 循環型社会経済システムの環境経済評価 ② 持続可能な消費行動分析 ③ 国際貿易とエネルギー・環境の関係分析

### 【講義・ゼミ紹介】

私の学部担当講義は、主に2年次生を対象とした『計量経済学I』、『外国書講読(英語経済)』、『現代経済システム基本演習』の3つです。『計量経済学I』の講義では、家計消費や国民所得といった様々な社会経済統計間の関係を数量的に分析するための基本的な手法について解説し、計量経済学の入門コースを提供しています。『外国書講読(英語経済)』、『現代経済システム基本演習』の講義では、それぞれ、経済システムと環境・資源管理の関係について論じた英語文献、日本語論文の内容についての発表を行い、英語文献の読解力、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力を鍛えるだけでなく、地球温暖化問題、エネルギー問題、埋立処分場問題、廃棄物リサイクル問題、廃棄物輸送問題の核心ならびにその経済的な処方箋について学習しています。



藤井 美男

FUJII Yoshio

【西洋経済史】

【研究テーマ】

①西欧中世後期・近世初頭における手工業史 ②西欧中・近世都市史・財政史 ③近代国家形成史

【講義・ゼミ紹介】

経済学部で私が主に担当するのは、2年次生で学ぶ「経済史」あるいは3年次生からの「西洋経済史」という科目です。西洋経済史について特に記しますと、これは、西洋においてなぜ最初に近代的な市場社会が成立したのかということ、様々な歴史的視点から考察しようとする科学です。実は、歴史を科学するということは、過去のある時点を固定して単純に捉えたり、過去の事実を事実としてのみ記憶し、説明することではありません。人類の過去の経緯をどのように科学的な法則として把握するか、そしていかにそれを現在と未来に投影させるか。それこそが西洋経済史の役割であり、私たちの勉学の目的なのです。3～4年次生のゼミではそういう大きな枠組みを考えつつ、受講生を主体にして、テキストの講読・個別発表という方式で学んでいます。



篠崎 彰彦

SHINOZAKI Akihiko

【国際企業経済】

【研究テーマ】

①情報技術革新と企業経済 ②生産性・企業投資分析 ③現代アメリカ経済

【講義・ゼミ紹介】

私たちは、衣食住のすべてを自分の力だけで満たすことはできない。しかし、市場を通じた交換によって、必要なものを国内ばかりか外国からも手に入れることができる。1年次の必修科目「経済学入門」では、この一見当たり前に思える現象を効率的に行う市場メカニズムとはどのようなものかを学びながら経済学の基本を身につけます。2年次の基本演習では、複雑な経済活動の実態を明快に理解していくために必要な統計処理、データ加工、文献情報の収集、サマリーの仕方の基本を学びます。専門分野を学ぶ3～4年次には、情報技術革新をテーマに、私たちの経済社会に何が起きているかを現実の企業、産業、経済にも関心を向けて考察を深めます。ゼミでは、情報経済の実態把握とその経済学的な理解をブレーン・ストーミング型のディスカッションで深め、積極的なチームプレーを通じてゼミ論文を仕上げます。



小津 稚加子

OZU Chikako

【国際会計】

【研究テーマ】

①会計基準の国際的統合の移行期コストとベネフィット ②多国籍企業のグローバル財務報告

【講義・ゼミ紹介】

「会計学Ⅱ」(2年次前学期)では、企業が行うさまざまな活動(商品の仕入・販売、設備投資、資金の管理と運用)を財務(カネの流れ)に注目して理解します。基礎理論を学び、計算問題を解き、知識を自分のものにします。「国際会計」(3年次)では、グローバルな資本市場で活躍する企業に焦点をあてます。上場企業は国際的に資金調達をするので、これに対応して資本市場でのルールも国際的にひとつにしようとする動きがありますが、企業の実務・慣習・制度や背後にある考え方に違いがあるため容易な作業ではありません。このような動きを理論的に掘り下げつつ、実在する企業の財務報告の例を取り上げて理解していきます。

「ゼミ」(3、4年次)では、財務会計と経営分析をより深く学習します。倒産企業や優良企業の財務諸表を使い、理論と実態をバランスよく学習します。グループ学習が基本ですので、先輩と後輩と一緒に学びあう場となっています。



石田 修

ISHIDA Osamu

【貿易投資分析】

【研究テーマ】

①貿易と多国籍企業の活動からみた世界経済分析 ②グローバル生産システムと企業活動 ③貿易の実証分析と理論的検証

【講義・ゼミ紹介】

2年次生になって学ぶ国際経済学Ⅰでは「モノとサービス」の国際的取引(貿易活動)を産業・企業・消費者の視点から学習します。また、国際経済学Ⅱでは「モノ、サービスそしてカネ」の国際取引を国の視点から学習します。さらに、3年・4年次生で学ぶ「貿易投資分析」は、現代の貿易取引と国際的な企業活動の動向を詳しく解説し世界経済の構造を分析します。なかでも、日本を中心としたアジア域内と域外の貿易、日本やアメリカの先進国の企業行動、そして、韓国・台湾・中国などのアジア企業の役割を理解してもらいます。

ゼミでは、社会人として必要な能力を身につけます。つまり、①国際経済・国際ビジネスの知識、②ディスカッション能力(人の意見を的確に吸収し、同時にそれに対して効果的に意見を述べること)、③自己表現の効果的な方法(たとえば魅力的なプレゼンテーション方法、レポートの書き方、コンピュータを使った表現方法)を学びます。このような能力は君たちの無形の資産として、社会に出ても必ず役に立つものと思います。



**潮崎 智美**  
SHIOSAKI Tomomi

【財務会計】

【研究テーマ】

①国際基準の導入に伴うドイツ会計制度の変容 ② EU 域内の会計規制・会計実務 ③グローバルな会計基準設定

【講義・ゼミ紹介】

「英語」、「パソコン」に次いで「会計（アカウンティング）」が、現代ビジネス・パーソンの三種の神器として挙げられたり、その知識やスキルを使いこなせるかどうかによって生じる機会、待遇、貧富の格差が「アカウンティング・デバイト」と呼ばれたりするなど、会計の知識やスキルの必要性はビジネス界において広く認識されています。そして、企業会計の知識やスキルは、ビジネス界だけでなく、家計や官庁会計にも援用されてきています。一方、会計は「ビジネスの言語」であるともいわれ、会計はビジネスを行っていくうえでのコミュニケーションの手段でもあります。グローバル化の進展する社会において、そのコミュニケーションの場は拡大しているのです。

私は、「財務会計」の授業を担当しています。この授業では、経済活動を行う主体である企業が、その経済的取引をどのように認識、測定し、そこで得たデータをどのように加工処理し、株主や債権者などの企業外部の利害関係者に対してどのように報告をするかを学びます。ゼミでは、インターネットやデータベースなど使って収集した会計情報を分析する「企業分析」を実践します。このように、会計学の知識やスキルを習得することを通じて、学生のみなさんが経済学部を卒業したあと、それらを駆使してグローバルあるいはローカルな場で活躍できるような総合的な力を育成することを目標としています。

column

## ビジネスの最先端の課題について学ぶ

九州大学経済学府(=大学院)には、2003年に「九州大学ビジネス・スクール(通称QBS)」が開設され、研究者の教員とともにビジネス界で豊富な実務経験を有する教員が、MBA(経営修士)を目指す高度専門職業人の養成を行っています。経済学部(経済・経営学科、経済工学科)では、このビジネス・スクール担当教員が交代で講義を担当しています。また、野村證券株式会社が提供する同証券スタッフによる講義「証券市場の機能と投資行動」なども開講されています。これらの講義により、産業界・金融界の最先端の課題について豊富な事例を通じて学ぶことができます。

ここでは、ビジネス・スクール担当教員による学部講義「技術経営」について紹介しましょう。

講義名

### 「技術経営」

担当教員(2015年度)

吉田 基樹・永田 晃也・高田 仁・朱 穎



高田 仁 教授

QBSの教員は、ビジネス・スクールで主として社会人を対象に講義を提供していますが、学部の「技術経営」については、4名の教員(吉田・永田・高田・朱)が毎年交代で講義を行っています。

従来の日本企業の強みであった「ものづくり力」が、近年では必ずしも企業業績の向上に結びつかないという指摘も多くなされています。情報技術の進化やグローバルな競争の激化など、企業経営をとりまく環境が大きく変化する今日、技術を起点として顧客価値の創造に取り組み、それを収益に結びつける「技術経営」について、各種理論的枠組みや事例等を引用しながら体系的に学習する機会を提供しています。

高田の講義では、普段、「技術」に対してあまり馴染みのない経済学部の皆さんには、技術と経営との結びつきについて知る良い機会かと思えます。



三浦 功

MIURA Iaso

【ミクロ経済分析】

【研究テーマ】

①公共サービスのアウトソーシングに関する経済分析 ②国際競争力と競争政策 ③医療経済学の理論的研究

【講義・ゼミ紹介】

1年次生後学期で学ぶ「ミクロ経済学」の講義では、消費者や生産者の行動を分析することにより市場での取引の効率性について検討します。その際、数式により表された簡単な理論モデルを用いながら、講義が行われます。3、4年次生で学ぶ「公共経済学」の講義では、民間部門や市場取引を補完するための公共部門の役割について説明します。

3・4年次ゼミの「経済工学演習」は、近年、医療経済学の分野から、演習テーマを選び、ゼミ生による報告を中心に行っています。例年、5名から10名ぐらいのゼミ生が所属し、活発な議論が交わされています。時には、専門的分野に関して、教員とゼミ生あるいはゼミ生同士の知的格闘(?)が行われることもあります。他方ゼミコンパは学問を離れ、教員とゼミ生が互いに胸襟を開き、本音で語り合える癒しの場として、定着しています。



藤田 敏之

FUJITA Toshiyuki

【経済モデル解析】

【研究テーマ】

①地球環境対策の数値モデルによる分析 ②国際環境協定の自己拘束性に関するゲーム理論的分析 ③環境政策における不確実性と不可逆性

【講義・ゼミ紹介】

3年次で学ぶ「環境経済学」においては、経済学部生が1・2年次で学んだ経済学の理論、手法がどのように応用されているかを中心に環境経済学の基本的な内容を概説します。ゼミでは理論に重点をおきつつ環境問題を経済学的に分析する手法を学んでいきます。ゼミは2年間で完結しますが、1年間で受講を終えても構いません。3年次ゼミでは教科書の輪読を行います。3年次ゼミの内容は上述の講義「環境経済学」の内容とリンクしているので、ゼミ受講者は「環境経済学」もあわせて受講すると理解がよりいっそう深められるでしょう。4年次ゼミでは3年次の学習を踏まえて環境政策に関する学術論文を読み、専門的な分野にふみこんで学習します。3・4年次ゼミは合同で行う予定です。年度末には受講者全員にゼミで学んだ内容についてのレポートを書いてもらいます。すべての受講者が卒業時に胸を張って環境経済学を修めたとと言えるようなレベルに達することを目指し、そのサポートをします。意欲ある学生の参加をお待ちしています。



瀧本 太郎

TAKIMOTO Taro

【マクロ数量分析】

【研究テーマ】

①時系列分析のマクロ経済分析への応用 ②非定常時系列モデルの統計的推測 ③一方因果性検定のマクロ経済分析への応用

【講義・ゼミ紹介】

本ゼミでは、経済・経営データを用いながら分析を行っています。例えば、七隈線の価値がどれくらいあるのかを、七隈線の建設によりどれだけ便利になったかデータ(街の中心部までの移動時間がどれくらい短縮されたかなど)で測定し、土地の価格データなどと組み合わせて分析しています。また、過去の株価データから将来の株価を予想することができるのかどうかを、世界の主要な株価データに基づき分析しています。他には、POSデータを使用して野菜ジュース市場における各会社のマーケットシェア(各会社の商品が占める割合)を予測することや、緑茶の各商品を個人がどのようにグループ分けしているか(A社のお茶とB社のお茶は似ているが、C社のお茶は違うなど)のアンケート調査を行っています。テーマ自体はみなさんが自由に決めて、分析に必要な道具をゼミで修得しながら活発な議論を行い、最終的には卒業論文としてまとめることを目指しています。分析には無料の分析ソフトRを利用しています。さあ、一緒にデータ分析をしてみませんか?



木成 勇介

KINARI Yusuke

【金融論・行動経済学】

【研究テーマ】

①期待形成バイアス ②報酬体系のインセンティブと競争選好・生産性 ③金融危機と投資家行動 ④経済政策

【講義・ゼミ紹介】

主に3・4年生を対象に金融の講義を行っています。個人のお金の貸し借りから出発し、金融機関、特に銀行の役割についての講義です。金融の基礎知識、銀行の基礎知識を身に付けた後は、学んだことを1990年代の日本の不況やサブプライムローン問題など、現実の経済問題に応用していきます。

ゼミでは、金融危機や行動経済学について、みんなで力を合わせながら勉強しています。教科書の内容をただ報告するだけでなく、わかりにくいところは図書館やインターネットなどで調べたり、わかりやすい例を考えて報告したり、疑問に思うことはみんなに討論を持ちかけたり、みんな思い思いに工夫しながら報告してくれています。その甲斐あって、元気で活発なゼミとなっています。



浦川 邦夫

URAKAWA Kunio

【政策分析】

【研究テーマ】

①税制・社会保障制度の政策効果に関する実証分析 ②主観的厚生・社会経済要因、地域要因、制度要因の分析 ③分配・再分配の価値判断に関する実験的アプローチ

【講義・ゼミ紹介】

私のゼミでは主に公的年金、医療保険、家族政策、生活保護といった政府の「社会保障政策」について、私やゼミ生が持ち寄った色々な文献をもとにして学習しています。少子高齢化が進行し、

社会保障にかかる費用が大きな額となるなかで、国民の多くが現行の社会保障制度に対して不安を抱くようになってきました。2011年には生活保護を受ける人が200万人を突破し、GDP第二位の経済力を有する日本にも貧困の問題が広がっています。人々が安心して暮らせる社会を考えるうえで、日本の社会保障制度、あるいは他の諸外国の社会保障制度が抱える様々な課題について学ぶことは、とても有用です。ぜひ、我々と一緒に学んでみませんか。ゼミでは、その他にヴァリアン『入門ミクロ経済学』（勁草書房）、ハイルブローナー『入門経済思想史』（ちくま学芸文庫）などの書籍を通じて、ミクロ経済学の基礎や経済学説の重点分野の復習について発表・討論を行う時間を設けています。



## 内田 交謹

UCHIDA Konari

【企業経済分析】

### 【研究テーマ】

- ① 企業金融の実証分析 ② コーポレート・ガバナンスの実証分析  
③ CSRと金融・資本市場

### 【講義・ゼミ紹介】

私は3・4年次生対象の「企業経済学」を担当しています。企業は株主から資金を調達し、そのお金で工場建設等の投資を行います。工場が製造した製品が売れば企業にお金が入りますが、このお金は最終的には配当として株主に還元されます。これらの財務活動がうまく行かないと、株価が下落し、株主から経営介入されるor買収対象となります。では、どのような財務活動を行えば、株価が上昇するのでしょうか？これが企業経済学のテーマです。

ゼミでも同様の問題について分析しますが、講義と異なり、各学生が勉強した知識と現実の企業データを使って、どのような財務活動が株価を高めるかを検証していきます。目標は、企業と株価に関するニュースについて、プロの目から意見を言えるようになることです。ゼミ・コンバやスポーツ大会等を通じて学生同士が親交を深めながら、本当の意味で「使える」知識を身に付けていく。そんなゼミを理想としています。



## 堀 宣昭

HORI Nobuaki

【産業組織】

### 【研究テーマ】

- ① 政治的エージェンシーモデル ② メディアの産業組織と政治  
③ ゲーム理論の国際関係論への応用

### 【講義・ゼミ紹介】

講義では、主に3・4生向けの「応用ミクロ経済学」を担当します。「応用ミクロ経済学」では、まず、経済学理論の基本中の基本である「ゲーム理論」の考え方を学びます。

「ゲーム理論」は、多くの人々（プレイヤー）がお互いに「駆け引き」をしているような「戦略的状況」を分析するための理論です。サッカーのペナルティキックは、キッカーとキーパーの駆け引きが見られる典型的な戦略的状況ですが、社会には、「本当はみんな協力をした方がいいのに自分だけ協力すると損をしまう」といった、人々の間の「協調」の実現が問題となるケースも数多く存在します。このような「駆け引き」を伴う戦略的状況は、広く社会一般に見られるものなので、今やゲーム理論は、経済学に限らず現代社会科学の共通言語とも言える理論となっています。

3・4年生対象のゼミでは、このゲーム理論をより専門的に学習します。さらに、国際政治など経済学以外でのゲーム理論の応用事例も議論しながら、最終的には、これまで日本人が不得手としてきた、社会問題をとことん「理詰め」で考え抜くことのできる学生を育てたいと考えています。



## 宮澤 健介

MIYAZAWA Kensuke

【比較経済政策】

### 【研究テーマ】

- ① 日本・世界経済のマクロ分析 ② 介護政策と家族のあり方  
③ 長期経済発展と人口動態

### 【講義・ゼミ紹介】

主に3・4年生を対象とした「経済政策」の講義を行っています。現代の資本主義社会では市場において各経済主体が自由に活動することが基本になっていますが、市場は常に効率的に機能するとは限りませんし、不平等な結果になってしまうこともあります。こうした問題に対して、ミクロ・マクロ経済学を用いて政府が行うべき政策を分析していきます。

ゼミでは長期的な経済発展について学んでいます。産業革命以降、私たちの社会・経済・生活はそれまでのものと全く異なるものになっています。産業革命以前の社会とはどのようなものか、産業革命はなぜ起きたのか、現在の経済水準・成長は維持可能なのかといった点について計量経済史の観点から検討しています。



## 磯谷 明德

ISOGAI Akinori

【比較経済制度】

### 【研究テーマ】

- ① 制度と進化の経済学 ② 労働市場と雇用システムの比較制度分析  
③ 日本経済を含むアジア資本主義の多様性と変容についての制度分析

### 【講義・ゼミ紹介】

3年次生になって学ぶ「比較制度」では、ここ30年余りの間に急速な進展を遂げた制度経済学・進化経済学の基本的な枠組みを「貨幣」と「労働」という2つを視軸にして学習します。講義される項目は次の通りです。まず制度と進化の経済学の諸潮流についての解説がなされ、続いて市場における財と貨幣の取引に関する制度分析、労働市場の制度分析、企業組織の制度分析、そして制度動学の理論について解説され、最後に総括がなされます。ゼミナールは、前期・後期の2部編成です。前学期には、ミクロ・マクロ経済学、ゲーム論の標準的なテキストを用いて、現代経済学の基礎を再確認します。後学期には、ここ数年のゼミのテーマである現代の企業の理論的・実証的研究を行っています。特に、1990年代以降の日本の企業と日本型企業システムと呼ばれてきたものの変容を、これから数年のゼミテーマにするつもりです。また、ゼミでは毎回「週間経済報告」が行われ、ゼミ合宿では通常の講義・演習では触れられない議論を取り上げます。これらを通して、ゼミでは単なるテクニックの習得やビジネス書を読むだけでは得られない、専門性の中に閉じこもらず、知的レベルを上げ、人間として理解力を高めることを目指します。



宮崎 毅  
MIYAZAKI Takeshi

【財政分析】

【研究テーマ】

① 地方政府の合併と政府行動に関する実証分析 ② 所得税が再配分や効率性に及ぼす影響の実証分析 ③ 震災と政府行動の経済分析

【講義・ゼミ紹介】

消費税増税、社会保障制度の改革、財政赤字の拡大など、財政に関する様々な問題がニュースなどで取り上げられていますが、実は財政の問題を間違えて理解している人が多くいます。3、4年生用の専門科目では、こうした財政に関連する問題を学習する「財政」などを担当します。政府の役割や財政赤字、社会保障、税制などを、現実や制度、理論の面から総合的に学習します。また、学部のゼミである「経済工学演習」では「財政と地方財政」をテーマとし、理論と実証における経済学の分析ツールを用いて、国の財政や地方財政、税制に関する問題を分析・議論します。テキストの輪読や研究報告、卒業論文報告などを行うほか、懇親会やゼミ合宿を通じて勉強以外でも交流を深めています。最終的には、財政や地方財政の問題を経済学的に議論できるようになってもらいたいと考えています。



橋本 由紀  
HASHIMOTO Yuki

【労働経済】

【研究テーマ】

① 外国人労働者を雇用する企業の生産性 ② 外国人の職業選択 ③ 性別職域分離の検証

【講義・ゼミ紹介】

3、4年生を対象とした「労働経済」の講義を主に担当しています。ミクロ経済学やマクロ経済学の基本的な枠組みを用いて、労働時間や賃金決定など雇用に関する理論モデルを学びます。また、様々な労働統計を通じて、現実の雇用問題や政策の意義を理解することも重点を置きます。

ゼミでは、年功賃金や長期雇用など日本の雇用制度に関する文献を講読し、長時間労働や非正規雇用などの問題について発表・討論を行います。また、実際の雇用現場をみて、ゼミで学んだ知識をより深く理解するために、企業へのフィールドワークも実施します。参加者各自が問題意識をもって、「雇用」について経済学的視点から主体的に語れるようになることを目指します。



大西 俊郎  
ONISHI Toshiro

【数理統計学】

【研究テーマ】

① ベイズ予測における双対性 ② モデル平均およびモデル選択 ③ ベイズ型一般化線型モデル

【講義・ゼミ紹介】

例として株式投資を考えてみましょう。株価は様々な要因により日々変動します。どの銘柄に投資するのがリスクを小さくし、かつ、収益を大きくできるのでしょうか？ 不確実性の下で適切な意思決定を行うにはどうすればよいのでしょうか？

この問題に対する1つの回答を与えるのが統計学です。過去のデータを分析し、将来を予測する方法論を科学する学問分野です。

担当講義科目の「数理統計学」「統計解析」では、

- (1) 基礎概念と数理的基礎を学び、
- (2) 代表的なデータ分析手法を学びます。

表計算ソフトなどを使ってデータ分析が行えるようになることが目標です。

ゼミでは、近年注目を集めているベイズ統計学を学びます。IT技術の進展は複雑なモデルを使ったデータ分析の必要性を増大させました。複雑なモデルに基づくデータ分析で威力を発揮するのがベイズ統計学なのです。ちなみにベイズとは18世紀の数学者 Thomas Bayes に由来します。



小野 廣隆  
ONO Hirota

【数理計画】

【研究テーマ】

① オペレーションズ・リサーチ ② 数理計画における高速アルゴリズム設計 ③ アルゴリズムのゲーム理論 ④ 大規模データ解析

【講義・ゼミ紹介】

世の中は「問題」に満ち溢れています。例えば、企業が製品の生産計画をたてる際には限られた原材料からどのように最大の利益を上げるかという「問題」を解かねばなりませんし、自治体はどこに公共施設を配置するのが最も効率的かを検討する「問題」を解かねばなりません。これらの「問題」を数理的な枠組みでとらえ最適解を求める手法を数理計画と言います。私は、3、4年生対象の「数理計画」という講義を担当しています。数理計画はいわばメタ学問であり、さまざまな分野の「問題」が対象になります。上にあげたような産業上の問題から、金融工学のポートフォリオ問題、バイオテクノロジー上の問題、またパズル・クイズの解法まであらゆるものが対象となります。

ゼミでは標準的なテキストを理解した上で、各人ごとに一つ具体的な最適化問題をターゲットとし、これを解決する手法提案に取り組みます。このような意味での「問題解決」には、十分な知識や推論力、さらには直感的な洞察力と、全方向での思考力が問われます。逆に言うと、思考力を鍛えて問題解決のエキスパートを目指そう、というのが当ゼミの目標です。



松本 浩一  
MATSUMOTO Koichi

【確率モデル解析】

【研究テーマ】

① 確率論のファイナンスへの応用（数理ファイナンス、金融工学） ② デリバティブの価格付け ③ リスク測定

【講義・ゼミ紹介】

松本ゼミは数理ファイナンスや金融工学の学習を通じて、社会で役立つ知識と能力を身につけることを目指すゼミです。金融工学の専門知識を生かした職務を志望する人、研究者を目指す人、数学の社会への応用に興味のある人などが参加しています。

ゼミで学ぶ数理ファイナンス、金融工学は、金融機関における投資、リスク管理、商品開発などのために発展してきた学問です。最近では、天候、地震、不動産、企業経営に伴う事業リスク等も研究対象となっており、様々な分野で応用されています。

ゼミは、専門書を分担して担当者が説明し、質疑応答を行うセミナー形式で行います。レベル別に分かれ、少人数で行うのが特徴で、

全員がしっかりと予習して参加することが求められます。先進的なファイナンス理論には確率微分方程式などの高度な数学が必要となりますので、数学とファイナンスの双方の専門知識をバランスよく、体系的に積み上げるような学習を行っています。



古川 哲也

FURUKAWA Tetsuya

【情報解析】

【研究テーマ】

①データベース理論 ②情報システム論 ③情報解析システムの構成

【講義・ゼミ紹介】

基本科目の情報処理Ⅱでは、表計算ソフトを用いて経済・経営分野のデータを処理するための手法やプログラミングの基礎を学びます。3年次で学ぶ「データ工学」の講義では、情報技術を用いてデータを利用するために、単純なデータからマルチメディアデータまで、様々な形式のデータがコンピュータ内でどのように蓄えられているのかを理解し、大量のデータを蓄積・管理して利用するための基本的な技術であるデータベースの考え方とデータ利用に関する技術動向について学びます。経済工学演習（ゼミ）では、情報通信技術を有効に利用するためにその基本的な知識を得るとともに、大量のデータを収集して解析する過程を幅広く検討します。また、発表資料の作成、プレゼンテーションに情報機器を活用し、メーリングリスト、ホームページ、電子掲示板などを実際に利用することで、コンピュータを利用するための感覚を身につけます。



小室 理恵

KOMURO Rie

【応用数学】

【研究テーマ】

①数理モデリング ②多目的遺伝的アルゴリズム

【講義・ゼミ紹介】

経済を勉強する上で、数学は「必要不可欠な道具」と言っても言い過ぎではないでしょう。その道具としての数学を学ぶための「経済数学」という講義を担当しています。「経済学分野に必要な数学」に絞った上で、できるだけ広範囲に渡る内容を取り上げます。

ゼミでは、微分方程式を用いた数理モデリング、つまり、「時間によって変化する現象を微分方程式で表す」ことを学んでいます。物理や生物の現象を表現する際、微分方程式は非常に有効なツールですが、経済学分野においても、微分方程式を用いて説明のできる現象が様々あります。私のゼミでは、微分方程式を使って数理モデルを構築（数理モデル化）し、それを解くだけでなく、得られた解がどのようにふるまうのかを学習します。まずは微分方程式による数理モデルに慣れることを目標に、経済学に限定せず、他分野での応用も紹介しながら教科書を読み進めます。その後、数学的な背景、および具体的な数理モデルを個々の興味に応じて扱います。また、希望があれば、数値解法（コンピュータを用いた解法）も紹介します。



**原田 沙織** HARADA Saori

九州大学 経済学部 卒業(2007年3月)

**就職先**

株式会社ジュピターテレコム  
テレマーケティング部

**産**

私が勤める会社では、ご加入のお客さまへお電話でサービスのご案内を行うコールセンターを自社で運営しており、現在はこのコールセンターの運営サポートを行う仕事をしています。具体的には各種実績の集計、運用フローの調整などが主な業務になりますが、最近では新しいサービスの検討会にコールセンター担当として参加し、サービス体系や販売方法、業務オペレーションについて意見交換を行ったりしています。

学生時代、私が所属していた実績ゼミは通常の授業以外にゼミ論、他大学との合同研究発表会、研修旅行、ゲストを招いての講義など、ゼミ活動が非常に活発なゼミでした。

特に合同研究発表会は、あるテーマに対し仮説を立て検証し導き出した結論をチームで発表を行うのですが、何度も何度もやり直し発表会直前は徹夜をし、と本当に大変なイベントでした。

しかし、こういった中でロジカルに考察する力の基礎が培われたのかなと感じています。今もまさに部長はじめ周囲の方からよく言われるのが「深掘して本質を見極めなさい」です。知識や資格のみならず、こういった理論的に物事を捉える力もすぐに身に付くものでもありません。学生時代、課題を仕上げの中で「結論から述べなさい」「伝えたいポイントをシンプルに考えなさい」など先生に教えていただいたことが今に繋がっていると実感しています。

### —これから九州大学経済学部を目指す皆様へ

私の業務上、仕事で社外の方と接する機会がほとんどないため、学生時代の知人の活躍は興味深くとても刺激になります。自分とは違う業界で働く人、海外で活躍する人多く多様な人たちの繋がりができるのも学生時代ならではの、学生時代の楽しい思い出や学びだけでなく、卒業後多方面で活躍するOB・OGとの繋がりは貴重な財産にきっとなることと思います。そんな貴重な学生時代を過ごす場として九大を選択していただくとOGとしてうれしく思います。

「将来やりたいことが見つからない」と考えていた高校生の私が、「グローバルに働きたい」と考え、現在は公認会計士として監査法人の国際部に所属し、監査及び国際関係業務に従事、日々楽しく仕事をしています。九州大学経済学部には大きく2つの魅力があり、その魅力が今の自分に導いてくれたと感じています。

一つ目は、素晴らしい仲間がいること。九州大学で4年間一緒に過ごした仲間は、将来に対する姿勢や目標意識が高く、「自分もがんばりたい」といつも刺激を与えてくれました。友人達が簿記の試験を受けるのに際し、興味本位で一緒に試験を受けたことが会計士を目指すきっかけとなりました。学生生活を有意義に過ごすことができたのは素晴らしい友人達に出会えたおかげだと今でも感謝しています。また、所属したゼミの同期には会計士を目指す仲間がたくさんいて、いつも励ましあい、支えあっていました。皆合格し、卒業後の今でも連絡を取り合っています。

二つ目は、社会人になった今でも学びと気づきを与えてくれる尊敬すべき先生がいること。社会人になってからも、ゼミの先生とは定期的に連絡を取り合っています。国際会計や財務会計を専門とし、海外を飛び回る先生の話を聞くことは、グローバルな視点をもつきっかけとなりました。国際部に所属した今では、海外の会計基準の最先端について教えてもらうなど、卒業後も様々なことを学んでいます。

大学で学ぶ全ては将来の自分にとっての財産になるものです。若さとパワーのある皆様の、可能性は無限大です。自分が、何のために、どこでどんな人と学びたいかを考え、そこで学んだことを生かして世界に羽ばたいてください。



**木原 麻美子** KIHARA Mamiko

九州大学 経済学部 卒業(2007年3月)

**就職先**

有限責任監査法人トーマツ・国際部

**産**



**川邊 裕貴** KAWANABE Hiroki

九州大学 経済学部 卒業(2010年3月)

**就職先**

三菱電機株式会社  
四国支社 電力部

**産**

九州大学経済学部では、経済・経営に関する基礎知識から、実社会における経済状況の理解・問題解決手法まで幅広く学ぶことができます。特に3年次から始まるゼミ(1学年10人程度の少人数演習)では、様々な分野から自分が興味ある項目を選択し、専門知識を修得することができます。私は、環境経済という分野を専門にしているゼミに所属していました。例えば太陽光発電は、発電時にCO2の排出量が少なく環境への負荷が小さいエネルギー源として普及が期待されていますが、「原材料～生産～発電～廃棄」までのライフサイクルでCO2の排出量を把握し、本当に負荷が小さいのか適切な評価を行うLCAという手法を学びました。また、太陽光発電の補助金制度が話題になっていますが、どの程度の補助金を設定すれば普及するかの評価を回帰分析という手法で研究しました。さらに、その手法を活用し、自分でテーマを探し解決していく実習もたくさんあります。

現在、電力会社向けの営業として6年目を迎え、九州大学で学んだことが仕事で生きているのを肌で感じています。特に2つ例を挙げると、1つ目は2、3年次に学んだ経済・経営に関する基礎知識で

す。営業活動の一つの手法として、「成長性と競争力から製品戦略を決定するPPM分析」や「自社を取り巻く外部環境と内部環境の分析を行うSWOT分析」等を使用する機会があります。そのような基礎知識があることで、入社当初から会社の中でも即戦力として活躍出来ます。2つ目は、自分で考え行動する力です。ゼミの中では、自分が興味を持つ課題を見つけ、疑問を見出し、どうすれば解決できるのかを学ぶことができました。社会人として、そのような能力が求められていると感じており、日々頭をフル回転させながら仕事に励んでいます。

九州大学では、素晴らしい先生方と少人数で濃密なディスカッションを行い、同じような志を持つ仲間たちと楽しい学生生活を送ることができます。その経験は社会人となる上で大きな財産になると思いますので、頑張ってください。

私は1994年に九州大学経済学部経済工学科に入学しましたが、学部時代に学んだ経済学のおもしろさがその後の私の人生を大きく変えました。経済学が社会科学の中では首尾一貫した体系を持っていること、そして経済学の考え方が社会を理解する上で極めて強力なツールになることを知り、より深く経済学を学びたい気持ちが強くなっていったのです。当時私の指導教員だった大住圭介先生（九州大学名誉教授、現福岡女子大学教授）に大学院進学を勧めていただいたこともあり、大学院で経済学を専門的に学ぶことを決意しました。

私が九州大学経済学府に進学したころは、いわゆる大学院重点化の時期と重なっており、大学院生の数が急激に多くなっている時期でした。そのような背景もあり大学院では多くの仲間といっしょに経済学の勉強に励むことになりました。学問をするというのはときに孤独な作業になることも多いのですが、異なる研究分野を持つ仲間達とゼミや研究会で議論することは大きな刺激となりました。また大学院では学部までの講義とは異なり、緻密な議論を理解し、それを組み立てる能力を身に付けていく必要がありますが、先生方の指導の熱心な指導のもとで、これらの能力を高めるべく研究に打ち込むことができました。

現在、私は金沢大学人間社会学域というところで主にマクロ経済学の教育・研究に携わっています。講義やゼミでは、九州大学で学んだ頃に体感した経済学の面白さを学生に伝えるべく、日々悪戦苦闘しています。また研究を進めるうえでもおいても大学院時代に習得したマクロ経済学の基礎的なツールや考え方は大きな財産になっています。日本の高等教育は大きな変革の時代を迎え、経済学の教育・研究も日々変化していますが、九州大学で培った知識を武器に教育研究を通じて社会に貢献して行きたいと考えています。



池下 研一郎 IKESHITA Kenichirou

九州大学経済学部卒業を経て  
九州大学経済学府修了（2003年3月）

就職先  
金沢大学人間社会研究域経済学  
経営学系 准教授



日野 道啓 HINO Michihiro

九州大学経済学部卒業を経て  
九州大学経済学府修了（2008年10月）

就職先  
鹿児島大学法文学部 准教授



九大合格が私の人生の転機になりました。私は、短大卒業後、経済学部にて三年次編入学をして以降、約10年間の長期にわたって九大にお世話になりました。

振り返れば、私は、高校時代まではいわゆる落第生でした。4年制大学への受験にもことごとく失敗した私ですが、自分の能力を顧みず、無謀にも九大受験に挑戦したのは、やはり、九大という学習環境への憧れがあったからだと思います。

他の学生とは、明らかに異なるバックグラウンドをもつ私にとって、九大は何もかもが新鮮でしたし、また喜びでした。まず、先生方は、私にとってライバルでした。「自分の見解を試す相手」という表現の方が正確かもしれません。自分の見解に幾分自信があったので、先生方相手に、いろいろと論戦を挑みました。その際、先生方の発言を真っ向から否定することもしばしばあり、今から考えれば、随分生意気な学生でした。しかし、多くの先生方は、「学問の前には皆平等」とばかりに、温かい対応をしてくださりました。一連の過程を通じて、自分の未熟さを改めて痛感すると同時に、目標点を確認していたように思います。また、私は国際経済学のゼミに所属しましたが、ゼミ生の国際色豊かな顔ぶれに圧倒されたことをよく覚えています。ゼミ生との交流は、私に国際的な視野と多様な視点を与えてくれました。

私が、大学院への進学を希望したのは経済学部にて在学して半年後のことです。その理由は、恵まれた学習環境にある経済学府で経済学をもっと深く学びたいと思ったからです。波瀾万丈の院生生活でしたが、先生方は、学習態度が決して良くなかった私のような院生を諦めずに懸命に御指導くださいました。また、在学中に出会った友人・先輩・後輩なくして、研究は続けられなかったと思います。

そんな私も、おかげさまで、現在、大学の教員をさせていただいております。経済学部・学府で得た知識・知見、そして人間関係は、私の教員としての糧になっています。

私は、学部から大学院博士後期課程まで九州大学でお世話になりました(学部と修士課程のあいだで「まさかの1年間」があったのですが)。

経済学には多様な考え方・分野があり、対立するものもあります(私自身入学してこのことに驚きました)。今となって強く思うのですが、九大経済学部は伝統的な経済学部の雰囲気がありつつも、実は多様な経済学が展開されていると思います。他では学べないニッチな経済学分野も学べます。多様な分野を自由に学べるということは大きな魅力だと思います。

九大経済学部で学べたおかげで、現実の政策やビジネスに触れるときに多様な視点を持っている気がします。また、私は現在未熟な研究者ですが、研究においても視野が狭くならないでいられる気がします(まあ、頭に一つの考え方しかないというのも幸せなのかもしれないとも思います)。

経済学府では、多様な分野の院生と一緒に議論するという機会が多くあります。異なる分野の研究をしている人間に自分の研究内容を分かってもらい、批判してもらおうという経験は、研究においても、また、社会での人間関係の構築においても、非常に有益であったと感じています。

さらに、私は自分と異なる考え方の先生方ともたくさん議論させていただきました。もちろん、先生方のコメントは厳しいものでしたが、どの先生も、分野や考え方を異にする私を頭ごなしに否定せず、真剣に話を聞いてくださいました。このようなことは、実は結構珍しいことではないかと今さらながら感じています。これは密かに大きな魅力だと思っています。

ここまでまじめに述べてきましたが、最後に、私の学部時代の生活の中心は友人たちと遊ぶことであったということを告白しておかなければなりません(修士課程の途中からは真剣に研究に取り組みました)。この意味では、「勉強しない自由」という点で自由度が高いのも、魅力のひとつかもしれません。



## 高口 鉄平 KOGUCHI Teppei

九州大学経済学部卒業を経て  
九州大学経済学府修了(2009年3月)

就職先  
静岡大学情報学部 准教授



## 谷口 綾 TANIGUCHI aya

九州大学 経済学部 卒業(2012年3月)

就職先  
福岡市役所  
福岡市教育委員会総務部職員課



私は、九州大学経済学部を卒業後、福岡市役所に入庁しました。現在は教育委員会事務局の人事担当課にて、職員の任免及び服務に関する業務を担当しています。研修等を通じて職員に対し服務規律の徹底や不祥事再発防止に向けた取組みを推進する立場になり、私自身も地方公務員の服務義務の重要性を改めて実感し、毎日身が引き締まる思いです。

昨年度までは区役所に勤務し、市民の皆さんと直接関わる仕事をしていましたが、現在は対職員業務が主になり、市民の皆さんのお顔は見えづらくなりました。しかし立場が変わっても、根拠となる法令等をもとに、読み手を意識したわかりやすい公文書を作成することが行政事務職員の基本業務であり、その先の行政運営が市民の皆さんの暮らしにつながっていくことは変わりません。

私は元々文章を作るのが得意ではありませんでしたが、在学中、所属していた北澤ゼミ(日本経済史)での論文作成にあたり、北澤先生をはじめ学部の先生方からきめ細やかなご指導をいただき、論理的な文章を作成する能力が自然と身についたように思います。それが、現在の公務にも活かしていると感じています。

九大経済学部は先生方と学生の距離が良い意味で近く、質問や相談がしやすいところが魅力のひとつだと思います。私自身も、講義だけではなく先生方と直接お話しするなかで、新たな視点や問題に気づくことができ、研究をより深めることができました。また、インゼミ等で他の学生の研究を聞く機会もあり、その学習意欲の高さに刺激を受けました。私が九大で過ごした4年間は、環境と人に恵まれた有意義な時間であったと感じています。

九大文系キャンパスが置かれている福岡市は、食・住・学・遊が近接した住みよい街だと思います。大学時代は、勉強だけではなく様々な経験を通して自らを成長させることのできる貴重な時間ですので、九大経済学部の好環境のもと、学生生活を実りあるものにしてください。

## 伊都地区の新キャンパスと箱崎地区の文系キャンパス

経済学部に入学者の皆さんは、1年次は主に伊都地区の新キャンパス（伊都キャンパス）で、また、2年次以降は主に箱崎地区の文系キャンパスで、それぞれ学ぶことになります。各キャンパスへのアクセスは、この冊子の最終ページをご覧ください。また、伊都キャンパスの紹介は、「九州大学ホームページ」の「受験生の皆様」のなかの「伊都新キャンパス情報」のページをご覧ください。

### ▶ 講義室・演習室

大学の授業は「講義」と「演習（ゼミ）」に大別できます。講義は科目の性質によって、大人数で行うこともあれば、比較的少人数で行うこともあります。これに対して、経済学部が重視している演習は少人数形式の授業です。経済学部には、こうした講義と演習のどちらにも対応できるよう、視聴覚設備を整えた様々な大きさの講義室・演習室が備わっています。



### ▶ 文系合同図書室

文系合同図書室は、経済学部・法学部・文学部・教育学部の4つの学部が所蔵する研究図書を管理し、学生や教職員にサービスを提供しています。経済学関係だけでも、図書が約32万冊、雑誌が約7700冊と国内でも有数の蔵書数を誇り、経済学部の学生なら誰でも利用できます。オンラインで提供している経済関係のデータベースも利用できます。

### ▶ 経済学部学生サロン (Echo)

### ▶ ITルーム

経済学部では、学生サービス向上の一環として、学生サロンとITルームを設置しています。学生サロンには“Echo”という愛称があり、これは経済学部の学生が名付けました。経済のEconomyに、学生の話し声が響いてくるというEchoが重ねられています。サロンには40脚ほどの椅子があり、自動販売機や洗面台も備え付けられています。

また、サロンには無線LANも完備されており、PCを持ち込むこともできますが、となりのITルームにはPCが設置されていますので、友人との歓談中に突然ネット検索したくなったら、そちらに行ってみましょう。PCの他にもDVDプレイヤーが置かれており、一部の講義の録画を視聴することができます。このように、EchoとITルームは学生同士の交流の場として活用されています。



## ▶奨学金

奨学金には、現在奨学生の大半を占めている日本学生支援機構奨学制度と、地方公共団体・民間の奨学制度があります。応募者は選考のうえ奨学金が貸与又は給付されます（詳細は「九州大学ホームページ」の「受験生の皆様」のなかの「経済支援」のページをご覧ください）。

### 日本学生支援機構奨学金

種類	貸与月額	対象学生等
第一種奨学金 (無利子貸与)	30,000円、45,000円	学部学生(自宅通学者)
	30,000円、51,000円	学部学生(自宅外通学者)
第二種奨学金 (有利子貸与)	30,000円～ 120,000円	学部学生

## ▶授業料の免除

経済的な理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合には、願い出により当期分の授業料の全額又は半額が免除されることがあります（詳細は「九州大学ホームページ」の「受験生の皆様」のなかの「経済支援」のページをご覧ください）。

## ▶学生寮

九州大学経済学部に入学した新入生は、以下の3つの寮に申請することができます（詳細は「九州大学ホームページ」の「受験生の皆様」のなかの「学生寄宿舎」のページをご覧ください）。

### ●ドミトリーⅡ

伊都地区、鉄筋10階建1棟、個室、収容数242名（新入生は100名程度）、寄宿料月額25,500円（水道光熱費別）。

### ●松原寮

箱崎地区、男子学生用、鉄筋3階建／4階建、1室1名、収容数150名、寄宿料月額700円（水道光熱費別）。

### ●貝塚寮

箱崎地区、女子学生用（管理人がいます）、鉄筋4階建、1室2名、収容数78名、寄宿料月額700円（水道光熱費別）。

## 国際交流協定による 外国留学

九州大学では、世界25カ国・地域の112の大学と学生交流協定を結び(2015年5月12日現在)、学生の海外留学を積極的に支援しています(詳細は「九州大学Webサイト」の「受験生の皆様」のなかの「交換留学制度」のページをご覧ください)。

こうした大学の枠組みを利用して、毎年、多くの経済学部生が世界の主要大学に、数か月から1年間程度の留学を行っています。留学先で講義や少人数クラスに出席して修得した単位の一部は、経済学部の卒業のための単位として認定されます。

最近3年間の経済学部学生による外国留学の国別人数と留学先大学名は次のとおりです。タイ8名(タマサート大学、チュラロンコン大学、マヒドン大学)、シンガポール9名(シンガポール国立大学、シンガポールマネジメント大学)、フィリピン3名(フィリピン大学、アテネオ・デ・マニラ大学)、韓国3名(西江大学)、中国5名(北京大学、復旦大学、香港大学)、台湾1名(国立台湾大学)、米国4名(ジョージア大学、アリゾナ州立大学)、アイスランド3名(アイスランド大学)、スウェーデン6名(ストックホルム大学、ウプサラ大学、スウェーデン王立工科大学)、英国5名(シェフィールド大学、ロンドン大学アジア・アフリカ学院、ブリストル大学)、ベルギー1名(レウヴェン・カトリック大学)、ドイツ1名(ミュンヘン大学)。

## 世界各国の 留学生が学ぶ 九州大学経済学部

九州大学経済学部では、世界各国の留学生が日本人学生と一緒に学んでいます。2015年5月1日現在において、九州大学経済学部で学んでいる外国人留学生は11名です。その出身国別内訳は、中国が5名、韓国が4名、シンガポール、マレーシアが各1名となっています。

これら学位取得を目的とした留学生のほか、海外提携校からの交換留学生も在籍しています。また、留学生向けの授業も用意されています。

### [外国人留学生専門教育担当教員(2015年度)の紹介]

**儲 梅芬**

Chu Meifen

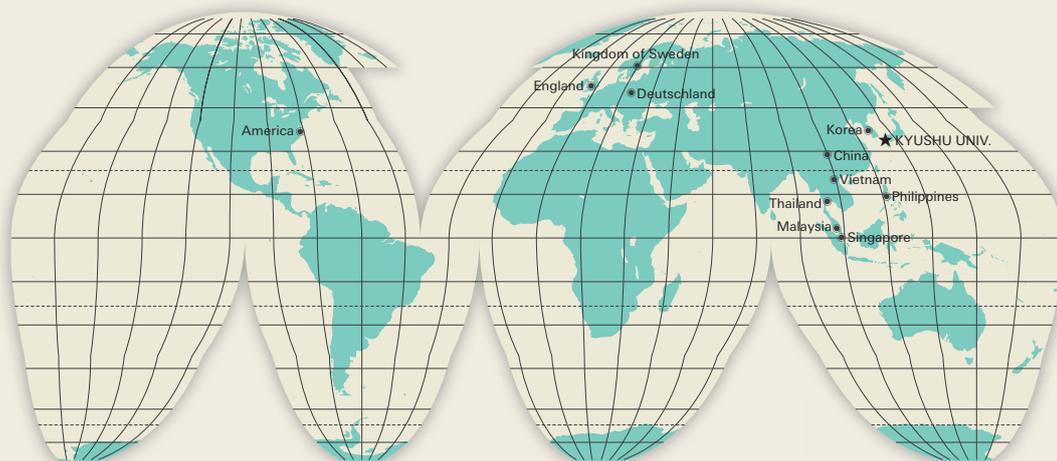
専門分野  
【複雑系、数理ファイナンス理論  
および応用】

#### 【研究テーマ】

① GP と粒子フィルタ法を用いた非定常時系列からの状態推定 ② Kernel-based手法を用いた判別分析とクレジット審査への応用 ③ マルチフラクタル性分析および市場の金融データ分析への応用

外国人留学生を対象とする「外国書講読(日本語経済)」は、経済学部の留学生担当教員が行います。留学生の日本語能力の向上と日本経済に対する理解の伸張が主たる目的です。前(春)

学期と後(秋)学期にそれぞれ開講し、前学期では世界的に著名な経済学者の日本経済に関する英語文献を使い、後学期では英文記事を用い、日本語で解釈・議論を行い、日本経済および世界経済に対する理解を深めます。可能な限り議論する時間を設けて発表能力を高めるとともに、レポート提出とその添削を通じて書く能力の向上を目的としています。また、企業・工場訪問の機会も設けています。外国で生活し、単位修得・卒業を目指して勉学に励んでいる留学生をサポートする授業です。「留学生」という同じ境遇にある学生同士が集う場所として、リラックスして参加してほしいと思っています。



九州大学経済学部卒業後の進路の1つに大学院への進学があります。九州大学大学院経済学府\*では、大学院進学を促進し、進学後の勉学を円滑化するため、経済学部のカリキュラムと連続性のあるカリキュラムを導入し、また「学部-学府一貫教育プログラム」(4-5ページ参照)を設けています。ここでは、学部卒業後の進路の一つである、大学院経済学府の二つの専攻(経済工学専攻・経済システム専攻)を紹介します\*\*。

\*九州大学では、大学院を「学府」と呼んでいます。

\*\*主に社会人向けの専攻＝「産業マネジメント専攻(QBS九州大学ビジネススクール)」については13ページのコラムを参照。なお、経済工学専攻のカリキュラムは学部の経済工学科のカリキュラムと、また、経済システム専攻のカリキュラムは学部の経済・経営学科のカリキュラムと、それぞれ連続しています。



## 大学院 経済学府 経済工学専攻

最先端の経済学と工学により、諸問題を創造的に解決できる人材を育成

本専攻は、経済システム解析、政策分析、数理情報の3分野から構成されています。経済システム解析の分野は、経済に関わる諸問題をミクロ経済・マクロ経済レベルで設定し、ゲーム理論やマクロ動学モデルなど最先端の理論モデルや数量的手法に依拠しながら理論・実証の両面から研究を進めています。政策分析の分野は、多様な経済問題に関する政策を分析・評価するための基礎知識と手法を学び、新たな政策提言を行うという課題を担っています。数理情報の分野では、経済分析のための統計的、数学的基礎、大量の情報を管理し処理するための数学的知識と、コンピューターの基礎と応用について研究します。

本専攻の修士課程修了者は、公務員やシンクタンクなど専門性を活かした職業に就くケースや博士後期課程に進学するケースが多く、経済界や学界など多方面で活躍しています。

## 大学院 経済学府 経済システム専攻

国際的に活躍できる研究者や高度専門職業人を養成

本専攻は、経済システムを「現代経済分析」「世界経済分析」「産業分析」「企業分析」という4つの側面から多面的、総合的に分析し、高い専門性だけでなく、広い問題関心と鋭敏な現実感覚、複合的な分析能力を身につけ、国際的に活躍できる研究者や高度専門職業人の養成をめざしています。

教育課程は、積み上げ型の科目編成によって、体系的な履修が可能となるように編成されています。また、論文作成を複数の教員で指導する態勢をとっています。修士課程においては、博士課程進学希望者を対象に、研究能力向上のための指導を通じた研究者養成を図ります。また、ビジネス界に通用する専門知識や国際性を有する人材育成や、公認会計士などの資格取得希望者に対する専門職業人教育にも対応しています。さらに、博士後期課程においては、現代社会の問題を解決する理論・方法を提示できる研究者・高度専門職業人を養成します。

## ■卒業生就職等状況一覧表

業 種	平成24年度	平成25年度	平成26年度
農林業・漁業・鉱業	2	1	0
建設	5	1	4
食料品・飲料	3	2	3
繊維	0	0	0
印刷	0	2	2
化学工業	4	2	3
鉄鋼・非鉄金属	4	6	7
汎用機器	3	3	1
電子部品・デバイス	1	3	4
電気・情報通信機器	4	6	5
輸送用機器	2	8	9
その他製造業	7	4	9
電気・ガス・水道	6	5	7
情報通信	25	19	20
運輸・郵便	4	3	5
卸売・小売	8	3	9
金融・保険	66	60	65
不動産・物品賃貸	2	4	3
学術研究	0	3	2
宿泊・飲食	0	0	0
生活関連サービス	2	2	3
教育・学習支援	2	1	0
医療・福祉	2	0	0
複合サービス	3	1	1
その他サービス	3	2	1
公務	27	27	21
上記以外	3	9	4
小 計	188	177	188
大学院進学	11	18	31
総 計	199	195	219

## ■卒業生が就職した主な企業・官公庁は、次のようになっています。

EMシステムズ	大正製薬
JA全農 (JA福岡県)	大和証券
JFEエンジニアリング	タカギ
JFEスチール	中国電力
JSOL	テクマトリックス
JX日鉱日石石油基地	電源開発
LIXIL	電通九州
NASIC	東京海上日動火災保険
NEC	東京証券取引所
NTTデータ	トヨタ自動車
NTTデータ九州	トヨタ自動車九州
NTTドコモ	西島製作所
TKC	長崎県庁
アイ・ケイ・ケイ	中津市役所
旭硝子	西日本シティ銀行
イオンリテール	西日本電信電話
彦根市役所	西日本旅客鉄道
伊藤忠商事	ニトリ
エイム	日本政策金融公庫
エイムハウス	日本生命保険
大分県庁	日本たばこ産業
大分市役所	日本電信電話
大分銀行	日本保育サービス
オービック	日本放送協会
香川県庁	日本メディアシステム
鹿児島銀行	任天堂
鹿児島県庁	農林中央金庫
鹿児島市役所	野村證券
河野産業	パナソニックシステムネットワークス
関西電力	肥後銀行
北九州市役所	日立ICTビジネスサービス
キャノン	日立システムズ
九州大学	日立製作所
九州電力	ひびき灘開発
麒麟麦酒	広島銀行
熊本朝日放送	広島市役所
熊本県警	福岡銀行
熊本国税局	福岡県警
熊本赤十字病院	福岡県信用保証協会
熊本大学	福岡市役所
久留米市役所	ふくおか証券
京王バス東	福岡市立病院機構
ケーブルワン	福岡ひびき信用金庫
コーエーテクモホールディングス	福岡放送
国土交通省	福島工業
財務省	富士通
佐賀銀行	船井総研
佐賀県庁	プライムデリカ
篠栗町役場	マイナビ
さなる九州	みずほ証券
山陽小野田市	三谷商事
ジー・ネットワークス	三井住友銀行
島屋	三井住友信託銀行
十八銀行	三菱UFJ信託銀行
商工組合中央金庫	三菱化学
信金中央金庫	三菱重工業
新日鉄住金	三菱倉庫
親和銀行	三菱電機
杉孝	三菱東京UFJ銀行
スターティア	ムトウ
ステート・ストリート信託銀行	明治安田生命保険相互会社
住友化学	メモリード
住友商事	安川電機
住友生命保険	山九
住友電気工業	山口フィナンシャルグループ
全日本航空輸	ラサ商事
ソフトバンクグループ	リクルートホールディングス
ソフトバンクモバイル	りそな銀行
損保ジャパン	琉球銀行
第一生命保険	

# 九州大学経済学部案内図

## School of Economics, Kyushu University



### 九州大学経済学部

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

TEL 092-642-2439(教務課学生第四係)

[九州大学URL] <http://www.kyushu-u.ac.jp/>

[経済学部URL] <http://www.econ.kyushu-u.ac.jp/>

